



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 東洋紡株式会社

コード番号 3101 URL <http://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂元 龍三

問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長

(氏名) 久保田 冬彦

TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	174,485	2.0	11,268	47.6	10,785	66.5	5,157	90.8
25年3月期第2四半期	171,117	△3.9	7,633	△30.9	6,477	△36.1	2,703	△48.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,858百万円 (257.5%) 25年3月期第2四半期 2,478百万円 (△56.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.80	—
25年3月期第2四半期	3.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	446,525	160,493	32.0
25年3月期	447,445	155,522	30.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 143,023百万円 25年3月期 138,024百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	3.2	22,000	28.8	19,500	25.6	9,500	24.4	10.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	890,487,922 株	25年3月期	890,487,922 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,928,368 株	25年3月期	2,039,578 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	888,569,696 株	25年3月期2Q	886,662,264 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)の3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年11月6日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) セグメント別売上・営業利益 .....	10
(2) その他参考指標 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外においては、中国をはじめとするアジア新興国の成長鈍化、長引く欧州の景気低迷、また債務上限問題で揺れた米国経済の先行き不安など、不透明な状況が続きました。一方、国内においては、政府主導の経済政策を背景とした円安基調や株高が続く中、景気は緩やかに回復しました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開し、拡大に向けた事業活動を進めております。成長拡大に向けては、「能力増強投資」、「海外展開加速」、「新製品開発」および「資産効率向上」の4つのアクションプランを掲げ、当期間においても、これらのプランに沿った事業活動を進めました。

「能力増強投資」としては、包装用と工業用の両フィルムの生産に対応し、市場環境の変化に柔軟に対応できる製造設備の立上げを進めました。また医薬事業では、国内で高まる医薬品製造受託のニーズに応えるために、新設備を稼働させました。「海外展開加速」においては、ドイツに新設した工場で機能性クッション材“ブレスエアー”の生産を開始、欧州市場での事業展開を加速しました。また、バイオ事業では、スペインの診断薬・診断機器製造販売会社を買収、アフリカや中南米の新興国市場への展開に向けた基盤作りを進めました。さらに「新製品開発」については、製品ポートフォリオを改革すべく、特殊な光学特性を持つ液晶向け工業用フィルム“SRF”、7月から保険適用を受けた医療機器“ナブリッジ”などの拡販に注力しました。また「資産効率向上」としては、ポリエステルタイヤコード事業からの撤退を計画どおりに進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は前年同期比34億円（2.0%）増の1,745億円となり、営業利益は同36億円（47.6%）増の113億円、経常利益は同43億円（66.5%）増の108億円、四半期純利益は同25億円（90.8%）増の52億円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

#### (フィルム・機能樹脂事業)

当事業は、フィルム事業では、包装用フィルムは苦戦しましたが、工業用フィルムは緩やかに回復しました。機能樹脂事業では、“バイロン”が苦戦しましたが、エンジニアリングプラスチックなどの自動車部材用途は好調に推移し、全体として前年同期に比べ、増収増益となりました。

フィルム事業では、包装用フィルムは、天候不良による食品用の需要低迷に加え、原料価格上昇に対する製品価格改定の遅れもあり、苦戦しました。工業用フィルムは、スマートフォン、タブレットPC部材用途が堅調に推移し、緩やかに回復しました。機能樹脂事業では、工業用接着剤“バイロン”の中国向け電子部品用途などが中国市場低迷の影響を受け、苦戦が続きました。エンジニアリングプラスチックの主力である自動車部材用途は、北米向けを中心に好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比44億円（6.2%）増の749億円、営業利益は同5億円（12.2%）増の48億円となりました。

#### (産業マテリアル事業)

当事業は、生活・産業資材が好調に推移したものの、環境関連で中国市場低迷の長期化の影響を受けるなど、前年同期に比べ、減収減益となりました。

エアバッグ用基布は、北米向けを中心に堅調に推移しました。タイヤコードは、平成25年12月で事業撤退することを決定し、その影響で大幅な減収となりました。スーパー繊維では、“ダイニーマ”は、船舶用ロープ、防護手袋用途を中心に安定的に推移しましたが、“ザイロン”は、耐熱材料用途などの販売が伸び悩みました。機能フィルターでは、VOC処理装置がアジアでのユーザーの設備投資延期の影響を受け、苦戦が続きました。生活・産業資材では、機能性クッション材“ブレスエアー”が寝装用途を中心に販売数量を伸ばし、増収となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比4億円（1.1%）減の347億円、営業利益は同2億円（9.3%）減の23億円となりました。

#### (ライフサイエンス事業)

当事業は、バイオ事業の好調、医療機器の新製品“ナブリッジ”の販売等により、前年同期に比べ、増収増益となりました。

バイオ事業では、主力製品である診断薬用酵素の販売が国内外で好調に推移しました。メディカル事業では、医薬品製造受託が、注射剤案件の順調な推移に加え、新設備の稼働もあり、増収となりました。医療機器では、保険適用を受けた神経再生誘導チューブ“ナブリッジ”の本格販売を開始しました。機能膜事業では、医用膜は、国内向けの販売回復が遅れましたが、海水淡水化用逆浸透膜は、サウジアラビアの新規大型案件向けの出荷や、国内外の既存プラント向け交換膜の出荷が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比5億円(3.7%)増の131億円、営業利益は同10億円(63.8%)増の26億円となりました。

#### (衣料繊維事業)

当事業は、前年同期に比べ、減収増益となりました。

スポーツ衣料製品は、円安による海外生産品のコストアップで収益が悪化しましたが、テキスタイルでは、中東向けの特化生地の販売数量が堅調に推移する中、輸出採算の好転もあり、収益が改善しました。アクリル繊維は、中国向けが堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比11億円(2.7%)減の397億円、営業利益は前年同期の営業損失5億円から23億円増の18億円となりました。

#### (不動産事業・その他事業)

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当事業の売上高は、前年同期比0億円(0.2%)増の121億円となり、営業利益は同1億円(8.6%)増の14億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比9億円(0.2%)減の4,465億円となりました。これは、主として、現金及び預金が減少したことによります。

負債は、前年度末比59億円(2.0%)減の2,860億円となりました。これは、主として、長期借入金とその他の固定負債が減少したことによります。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定がそれぞれ増加したことなどから、前年度末比50億円(3.2%)増の1,605億円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、170億円の収入となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益82億円、減価償却費68億円および売上債権の減少額35億円です。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、140億円の支出となりました。主な内容は、有形及び無形固定資産の取得による支出122億円です。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、119億円の支出となりました。主な内容は、社債の償還による支出100億円です。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前年度末比74億円減の191億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、通期の業績予想につきましては、前回公表しました予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,600	19,210
受取手形及び売掛金	74,598	73,038
商品及び製品	43,073	43,315
仕掛品	14,179	15,126
原材料及び貯蔵品	13,757	14,192
その他	12,729	11,630
貸倒引当金	△198	△353
流動資産合計	184,739	176,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,239	46,428
機械装置及び運搬具（純額）	33,876	36,729
土地	106,202	106,790
その他（純額）	15,956	18,576
有形固定資産合計	202,273	208,523
無形固定資産	1,242	2,720
投資その他の資産		
その他	60,417	60,449
貸倒引当金	△1,226	△1,325
投資その他の資産合計	59,191	59,124
固定資産合計	262,707	270,367
資産合計	447,445	446,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,452	50,383
短期借入金	51,211	50,536
1年内返済予定の長期借入金	21,815	29,372
引当金	4,036	4,148
その他	39,316	28,720
流動負債合計	164,831	163,159
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	52,278	49,149
退職給付引当金	17,576	18,182
役員退職慰労引当金	379	300
環境対策引当金	1,771	1,670
その他	35,088	33,572
固定負債合計	127,093	122,873
負債合計	291,923	286,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,239	32,239
利益剰余金	21,568	23,428
自己株式	△295	△266
株主資本合計	105,242	107,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,815	4,106
繰延ヘッジ損益	△72	△56
土地再評価差額金	41,422	41,422
為替換算調整勘定	△11,384	△9,580
その他の包括利益累計額合計	32,782	35,892
少数株主持分	17,498	17,470
純資産合計	155,522	160,493
負債純資産合計	447,445	446,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	171,117	174,485
売上原価	135,792	136,032
売上総利益	35,325	38,454
販売費及び一般管理費	27,692	27,186
営業利益	7,633	11,268
営業外収益		
為替差益	—	558
その他	2,149	1,887
営業外収益合計	2,149	2,445
営業外費用		
支払利息	964	852
退職給付会計基準変更時差異の処理額	786	785
その他	1,555	1,291
営業外費用合計	3,305	2,927
経常利益	6,477	10,785
特別利益		
固定資産売却益	204	—
負ののれん発生益	—	595
その他	141	17
特別利益合計	345	612
特別損失		
固定資産処分損	484	764
投資有価証券評価損	849	—
構造改善関係費	—	1,138
その他	907	1,255
特別損失合計	2,239	3,157
税金等調整前四半期純利益	4,582	8,240
法人税等	1,522	2,552
少数株主損益調整前四半期純利益	3,060	5,688
少数株主利益	357	531
四半期純利益	2,703	5,157



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,060	5,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△485	1,297
繰延ヘッジ損益	0	16
為替換算調整勘定	△62	1,805
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	51
その他の包括利益合計	△582	3,170
四半期包括利益	2,478	8,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,112	8,278
少数株主に係る四半期包括利益	366	579

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,582	8,240
減価償却費	6,403	6,767
支払利息	964	852
売上債権の増減額 (△は増加)	3,498	3,541
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,601	182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,099	812
その他	△1,769	△1,674
小計	15,181	18,719
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△614	△1,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,567	16,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,289	△12,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,093
会社分割による収入	—	739
その他	1,140	569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,149	△13,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△697	△1,048
長期借入れによる収入	13,950	13,735
長期借入金の返済による支出	△13,071	△9,718
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△3,089	△3,102
利息の支払額	△938	△900
その他	△1,548	△839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,394	△11,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,989	△8,545
現金及び現金同等物の期首残高	9,481	26,467
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	334	1,103
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,804	19,064

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に 対する売上高	70,549	35,047	12,591	40,832	1,887	160,906	10,211	171,117	—	171,117
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	107	46	96	627	876	5,438	6,314	△6,314	—
計	70,549	35,154	12,638	40,927	2,514	161,782	15,649	177,431	△6,314	171,117
セグメント利益 又は損失(△)	4,310	2,590	1,600	△535	808	8,774	440	9,213	△1,580	7,633

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,580百万円には、セグメント間取引消去△101百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,479百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ライフ サイエンス 事業	衣料繊維 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客に 対する売上高	74,902	34,674	13,056	39,729	1,947	164,308	10,177	174,485	—	174,485
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	28	95	50	89	611	873	8,027	8,900	△8,900	—
計	74,930	34,769	13,106	39,817	2,558	165,181	18,204	183,385	△8,900	174,485
セグメント利益	4,834	2,348	2,621	1,767	906	12,476	449	12,925	△1,658	11,268

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,658百万円には、セグメント間取引消去△285百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,372百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

#### (1) セグメント別売上・営業利益

(注) 下記の当連結会計年度における下半期及び年度の数値は、当第2四半期決算発表時点での予想数値であります。

(単位：億円)

		売上高				営業利益		
		前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減	増減%	前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減
		自24. 4. 1 至25. 3. 31	自25. 4. 1 至26. 3. 31			自24. 4. 1 至25. 3. 31	自25. 4. 1 至26. 3. 31	
フィルム・機能樹脂	1 Q	355	379	+ 24	+ 6.7%	17	24	+ 8
	2 Q	350	370	+ 20	+ 5.6%	26	24	△ 2
	上	705	749	+ 44	+ 6.2%	43	48	+ 5
	下	668	741	+ 73	+ 10.8%	33	48	+ 14
	年度	1,374	1,490	+ 116	+ 8.4%	76	96	+ 20
産業マテリアル	1 Q	173	172	△ 1	△ 0.6%	10	10	+ 0
	2 Q	177	175	△ 3	△ 1.5%	16	14	△ 3
	上	350	347	△ 4	△ 1.1%	26	23	△ 2
	下	368	363	△ 5	△ 1.4%	29	28	△ 1
	年度	719	710	△ 9	△ 1.2%	55	51	△ 4
ライフサイエンス	1 Q	54	58	+ 4	+ 8.3%	4	12	+ 7
	2 Q	72	72	+ 0	+ 0.3%	12	15	+ 3
	上	126	131	+ 5	+ 3.7%	16	26	+ 10
	下	122	139	+ 17	+ 13.8%	26	28	+ 2
	年度	248	270	+ 22	+ 8.7%	42	54	+ 12
衣料繊維	1 Q	194	187	△ 7	△ 3.8%	△7	8	+ 15
	2 Q	214	210	△ 4	△ 1.7%	1	9	+ 8
	上	408	397	△ 11	△ 2.7%	△5	18	+ 23
	下	384	393	+ 9	+ 2.3%	7	8	+ 1
	年度	792	790	△ 2	△ 0.3%	2	26	+ 24
不動産・その他	1 Q	55	57	+ 3	+ 4.6%	5	5	+ 0
	2 Q	66	64	△ 2	△ 3.4%	7	8	+ 1
	上	121	121	+ 0	+ 0.2%	12	14	+ 1
	下	136	119	△ 17	△ 12.5%	15	12	△ 2
	年度	257	240	△ 17	△ 6.5%	27	26	△ 1
消去又は全社	1 Q					△7	△8	△ 1
	2 Q					△9	△9	+ 0
	上					△16	△17	△ 1
	下					△15	△16	△ 1
	年度					△31	△33	△ 2
合計	1 Q	831	853	+ 22	+ 2.7%	22	52	+ 30
	2 Q	881	892	+ 11	+ 1.3%	54	61	+ 7
	上	1,711	1,745	+ 34	+ 2.0%	76	113	+ 36
	下	1,679	1,755	+ 76	+ 4.5%	94	107	+ 13
	年度	3,390	3,500	+ 110	+ 3.2%	171	220	+ 49

(2) その他参考指標

1. 設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
23年3月期	139	191
24年3月期	165	195
25年3月期	180	132
26年3月期 2Q	110	68

2. 研究開発費

(単位：億円)

	研究開発費
23年3月期	106
24年3月期	108
25年3月期	100
26年3月期 2Q	51

3. 有利子負債残高・金融収支

(単位：億円)

	有利子負債残高	金融収支
23年3月期	1,518	△ 16
24年3月期	1,549	△ 11
25年3月期	1,594	△ 9
26年3月期 2Q	1,525	△ 4

4. 従業員数

(単位：人)

	従業員数
23年3月期	10,178
24年3月期	10,479
25年3月期	10,566
26年3月期 2Q	10,742